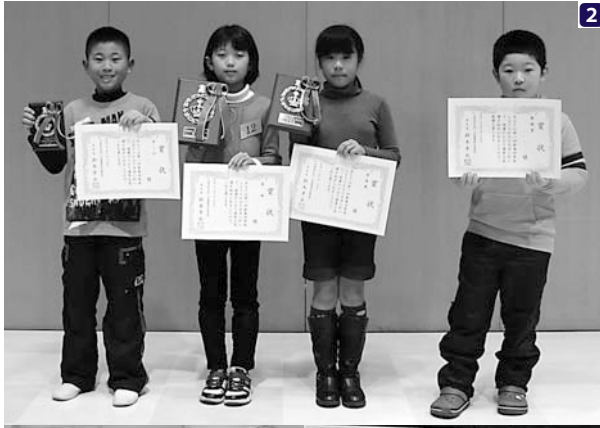


1月

25

楽しみながら郷土を学ぶ 第1回新春田原本ふるさとかるた大会



表彰者の紹介

- 優勝 森 愛那さん
- 準優勝 南 一華さん
- 3位 植田陽介さん
- 敢闘賞 門田 尊さん

1 読まれた札を素早く取り合う 2 表彰者全員で記念撮影 3 ももたんが応援に駆けつける 4 表彰を受ける森さん

1月25日、町民ホールで「第1回新春田原本ふるさとかるた大会」が開催され、20人が参加しました。
これは、町記紀・万葉事業実行委員会の主催により、小学生たちに楽しみながら郷土を学んでもらうことを目的に行われました。このかるたは、小学校の学習資料としても活用されています。
児童たちは句が読まれると、素早く札を取り、日ごろの練習成果を發揮していました。大会終了後、表彰式が行われました。

1月

12

無病息災と五穀豊穡を祈願 灯の路と大とんど



▲しめ縄などで組み上げたとんどに点火する

1月12日、多神社で飛鳥川川辺のまちづくり多神社イベント「灯の路と大とんど」が開催されました。
子どもたちが紙袋で作った灯ろうが並べられた境内は、幻想的な光りに照らされました。
神社東側の田んぼでは、大とんどが行われました。火柱が高く立ち上るとともに、竹の破裂する音が響き渡り、観客から大きな歓声が沸き上がりました。

1月

21

消防団のこれまでの功績に 特殊切手を町消防団に贈呈



▲特殊切手の贈呈を受ける今西さん（写真中央）

1月21日、奥田彦英さん（味間郵便局長）から町消防団に、特殊切手「消防団120年」が贈呈されました。
この特殊切手は、1894年に消防組織が発足してから120年目を迎えたことを記念し、発行されました。
贈呈を受けた今西和夫さん（町消防団長）は「切手をいただけることは、記念になり、非常に嬉しい」と感謝の言葉を述べられました。

1月
26

親子で楽しい時間を過ごしました 親子ふれあい体験教室「折り紙ヒコーキづくり」



▲親子で紙ヒコーキを作る

1月26日、中央体育館でJALグループ社員の指導のもと、親子ふれあい体験教室「折り紙ヒコーキづくり」が開催され、33組の親子が参加しました。

この教室は、親子のふれあいやコミュニケーションを高め、家族の絆を深めることを目的としています。参加者たちは、親子で仲良く紙ヒコーキを作り、それを飛ばして楽しく遊びました。

1月
26

力強い音を響かせました 子ども太鼓フェスティバル2014



▲力強く太鼓を叩いて演奏

1月26日やよいの里ホールで「子ども太鼓フェスティバル2014」が開催され、町内外から16チームが参加しました。

この大会は、和太鼓を通し、子どもたちの健全育成とつながりを求めることを目的としています。

参加した子どもたちは、日ごろの練習の成果を発揮して一生懸命に太鼓を叩き、力強い音をホール全体に響かせました。

2月
4

食の自立を目指して 男性の料理教室



▲和やかな雰囲気で作る料理

2月4日、保健センターで男性の料理教室が開催され、14人が参加しました。この教室は、男性の食の自立を目指し、食生活改善推進員協議会によって開かれています。

今回は簡単にできる家庭料理として、煮込みハンバーグや蒸し野菜サラダなどの4品を作りました。

参加者たちは、食生活改善推進員の指導のもと、手際よく料理を作り上げました。

2月
5～

昔のことをたくさん教わりました 小学生と高齢者の交流学習「昔を知ろう」



▲昔の話を熱心に聞く児童

2月5日からコミュニティホールで、田原本小学校3年生が生き粋サロンふれあいコスモスの利用者としてふれあいながら昔の暮らしを学ぶ授業「昔を知ろう」が行われました。

授業では、第2次世界大戦中の満田の空襲を知る森田泰輔さんが、その時の様子を話しました。その後児童たちは、昔の遊びや学校などについて質問、昔を思い出して話す高齢者の言葉を熱心に聞いていました。